

Interview

楽団員インタビュー Vol.51

大蕨棚田の風景は 四季を通してお気に入り

ホルン 関谷 智洋

Tomohiro Sekiya, Horn



◆楽器を始めたきっかけは？

クラシック音楽好きな父の影響もあり、子どもの頃から音楽が好きでした。中学で吹奏楽部に入りトランペットを希望するつもりでしたが、当時好きだった女子がホルンにいるのを知り急遽希望変更。見事ホルンの枠をゲットしました。

◆そこから、オーケストラプレイヤーを 目指したきっかけは？

高校で進路を考える時に他に何も浮かばず、自分の中でのホルンの存在の大きさに気付きました。そこから色々な曲を知っていく中で、オーケストラの魅力的な曲たちを演奏してみたいという気持ちがどんどん強くなっていったのがきっかけとなりました。

◆好きな作曲家・曲は？

J.S.バッハの器楽曲やR.シューマンのオーケストラ曲が好きです。

◆ホルンの魅力は何ですか？

音色です。一つの音を伸ばしているだけでも様々な風景や場面を想像することができたり、ホルンパートや他の楽器と合わさることで音色の足し算以上の響きを造ることができると思います。それらを感じられるときは本当に幸せです。

◆好きなホルン奏者は？

沢山すぎるととても困る質問です...
「この人のここ、あの人のあそこ」というように、いいなあと思ったパーツを組み合わせてきたのですが、

中でも1人あげるとすれば、1995年に酒田市で開催された「世界ホルンフェスティバル」で聴いたハンガリーのアダム・フリードリヒ。音の温かさ・豊かさ、響きのふくよかさは忘れられず、自分の音色感に大きな影響を受けました。

◆使用している楽器について教えてください。

PAXMAN 23M と YAMAHA 841GD を主に使用しています。

◆山形でお気に入りのもの、場所はありますか？

山響棚田米の里でもある山辺町「大蕨の棚田」の風景は四季を通じて特にお気に入りです。

◆趣味や特技はありますか？

ずっと温泉巡りと答えてきましたが、昨年30年振りにスキーへ行ったのをきっかけにハマりかけています(完全初心者ですが)。スキーの楽しさだけでなく、スキー場から見る自然の美しさにも改めて心奪われています。

◆最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

いつも演奏会にご来場頂き有難うございます。入団当初からお客様とオーケストラとの距離がとても近い素敵な環境だと思っています。山響が今日50周年を迎えられたのも、ひとえに皆様の絶え間無い応援があったからこそと感謝の気持ちでいっぱいです。私も山響21年目となりました。メンバーの中でもちょうど真ん中の年齢となりましたが、山響の歴史からみればまだひよっこ。これからも山形ならではの音を作り重ねていけるよう頑張ってお参ります。